

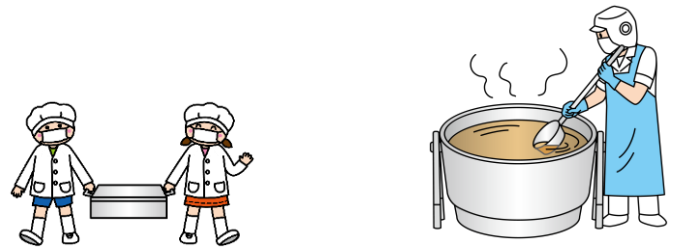
食育だより 1月



基山町の学校給食の歴史

基山町の学校給食は昭和38年から始まりました。その後、食器を焼き物にしたり、学校ごとにあった調理場が一つの給食センターに統一されました。鶏肉のレモン煮やきなこあげパンはおよそ50年前から続く人気メニューです。

学校給食は長く続いています。保護者の方たちも食べてきた人が多いと思います。好きだった献立や印象深い出来事など、ぜひ家族で語り合ってみてください。



1月24日~30日は、全国学校給食週間です!

日本の学校給食は、明治22年、山形県鶴岡町(現：鶴岡市)の私立忠愛小学校で提供されたのが始まりとされています。その後、各地に広まったものの、戦争による食料不足で中断されてしまいました。戦後、子どもたちの栄養不足を改善するため、昭和21年にアメリカの支援団体「LARA(アジア救済公認団体)」から、給食用物資の寄贈を受けて、翌年1月から学校給食が再開されることになりました。昭和21年12月24日に、東京都内の小学校で給食用物資の贈呈式が行われたことから、この日を「学校給食感謝の日」としましたが、昭和25年度からは、冬季休業と重ならない1月24日~30日までの1週間を「全国学校給食週間」とすることが定められました。

全国学校給食週間を通して、学校給食の意義や役割などを皆さんに知ってもらい、学校給食についてあらためて考える機会にしてほしいと思います。



学校給食の移り変わりを見てみよう!

<p>明治22年</p> <p>私立忠愛小学校で提供されたとされる給食。</p>	<p>戦後(昭和20~30年代)</p> <p>支援物資の脱脂粉乳や缶詰、小麦粉などを使った給食。</p>	<p>現在</p> <p>地域でとれる旬の食材を取り入れ、郷土料理や行事食、世界の料理など、食育の教材となる給食。</p>
---	--	--

1月30日の献立は、「昔の給食」です。給食にご飯が登場したのは50年前から。それまでの主食はパンでした。カレーの白もパンです。

給食週間の献立には、「佐賀県・基山町の郷土料理」「大阪府の郷土料理」「基山中A.L.Tマリアン先生紹介のシンガポール料理」が登場します。

